

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

尿中 L 型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) (依頼コード No. 3910)

受託開始日 2012年7月2日(月) 受付分より

ヒト L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)はヒト近位尿細管に発現する分子量約 14 kDa の脂肪酸結合蛋白です。腎臓以外では肝臓や小腸にも発現しており、細胞内の脂肪酸代謝に関与することが知られています。慢性腎疾患は尿蛋白や虚血などのストレスが関与しており、L-FABP は近位尿細管にそれらのストレスが負荷されると発現が増加し尿中への排泄が増加するという、従来のマーカーとは異なる特徴をもった新しいマーカーです。L-FABP は腎疾患の進行を予測する指標として期待されています。

### 受託要領

依頼コード No.	3910
統一コード	5C100-0000-001-023
検体必要量	尿 2.0 mL
採取容器	U-1
検体の保存方法	凍結
所要日数	3 ~ 9 日
検査方法	EIA 法
基準値	8.4 以下 (クレアチニン補正值)
単位	μg/gCre
報告範囲	L-FABP 濃度 3.0 未満 ~ 最終値 (ng/mL) クレアチニン補正值 0.1 ~ 最終値 (μg/gCre) L-FABP の濃度が 3.0 未満の場合、クレアチニン補正值は「換算不可」と報告させていただきます。
報告桁数	小数第 1 位
検査実施料 / 判断料	210 点 / 34 点 (尿・糞便等検査)
備考	塩酸蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合があります。 検体に強い溶血が見られると検査値に影響を及ぼす場合があります。

【測定法の参考文献】 Kamijo, A. et al.: J Lab Clin Med. 143, 23-30, 2004.